

平成 24 年度 下 半期 指定管理者管理運営状況シート

●施設の概要

施設名	本郷児童センター	所管課	福祉部子ども家庭課
所在地	岐阜市青柳町5丁目24番地1		
指定管理者名	社会福祉法人 岐阜市社会福祉事業団		
指定期間	平成24年4月1日～平成29年3月31日まで		
選定方法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募		
料金制	<input type="checkbox"/> 使用料 <input type="checkbox"/> 利用料金 <input checked="" type="checkbox"/> 料金徴収なし		
指定管理委託料(年額)	14,449,000円		
施設の設置目的	児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、又は情操を豊かにすることを目的とする。		
施設概要	◇構造:鉄骨造平屋建 ◇敷地面積:1,468.33㎡ ◇延床面積:488.78㎡ ◇施設内容:遊戯室、幼児室、図書学習室兼集会室、おもちゃ図書館、事務室、駐車場		

●利用状況

		H24 下半期	H24 上半期	H23 下半期	H23 上半期	H22 下半期
利用者数 (単位:人)	来館者数	10,937	12,377	10,372	11,165	10,662
	移動児童館利用者数	575	411	490	495	648
各室稼働 状況	移動児童館実施回数(単位:回)	17	18	20	17	20
	開館日数(単位:日)	151	157	152	157	151

●業務の履行確認

区分	確認事項	履行状況
利用者サービス	①開館日・開館時間の遵守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④苦情への対応 ⑤仕様書、事業計画書に基づく事業の実施	①、⑤計画どおり実施。 ②所長、正規職員(1名)、嘱託職員(1名)。うち児童厚生員2名。 ③センター便り・幼児用センター便りの発行・配布、行事案内ポスター掲示、幼児クラブの案内掲示、行事ポスター掲示、児童館ホームページ掲載。ぶりがネット登録 ④苦情受付箱を常設 苦情・クレームについてはマニュアルに従って対応。アンケート調査結果は館内に掲示(公開)。
自主事業・提案事業	—	—
施設管理	①施設設備の保守点検の実施(仕様書別記2参照) ②施設の衛生管理に対する配慮、快適に利用できる状態の保持 ③省エネルギー並びに環境への負荷の軽減に努めること ④施設・設備・備品等の維持管理	①、④適切に実施。 ②就労促進事業施設清掃班による清掃を実施。 ③使用していない部屋の消灯、適正室温の設定等、節電を実施。廃品の再利用(リサイクル・リユース)に努めた。 ④おもちゃ病院のボランティアによる定期的なおもちゃの修理
施設修繕	下記の観点からの修繕実施状況 ①迅速な修繕の実施 ②指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備	②大規模な修繕については指定管理者並びに岐阜市に要望を提出。
危機管理・法令遵守	①個人情報の保護 ②非常時の対応策 ③関係法令の遵守	①、②、③マニュアル等に沿って適切に実施。

●利用者評価

利用者アンケートの実施状況	平成25年3月1日～14日に幼児クラブ参加の保護者にアンケート(無記名)を実施。 回答者数51人(回収率100%)
利用者アンケートの実施結果	○職員について ・あいさつ 満足39人、ほぼ満足11人、普通1人、やや不満0人、不満0人 ・言葉遣い 満足42人、ほぼ満足9人、普通0人、やや不満0人、不満0人 ・対応 満足37人、ほぼ満足13人、普通1人、やや不満0人、不満0人 ○施設について ・整理整頓 満足31人、ほぼ満足17人、普通3人、やや不満0人、不満0人 ・使いやすさ 満足29人、ほぼ満足20人、普通2人、やや不満0人、不満0人
利用者からの要望・苦情と対応・改善	・要望 ⇒回答 駐車場が狭い、入口が入りにくい ⇒岐阜市へ要望する 冬の廊下が寒い ⇒事務室など部屋のドアを開けて廊下を暖めているがなかなか暖まらない。岐阜市へ要望する。 自分のお子さんの出したおもちゃを親さんがみていない ⇒保護者の方に言葉がけをする。 2歳以上のクラブの曜日が他のサークルと重なって参加できない⇒自由参加のクラブの回数を増やします。

●指定管理者の選定基準に基づく評価

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
公平性 透明性	住民の平等利用が確保されること	平等利用を確保するための体制、モニタリングなど	・利用者アンケートの実施 ・運営委員会の開催	A	A	A
		情報公開、広報の方策	・利用者アンケート結果の公表(館内掲示など) ・広範で適切な広報活動の実施(ホームページなど)	S	S	S
		区分評価			S	
効果性	事業計画書の内容が、対象施設の効用(設置目的)を最大限発揮するものであること	既存業務の改善、工夫又は新規事業等の実施	・業務改善や工夫又は新規事業(行事)等の実施	S	S	S
		利用者ニーズ、苦情などの把握方法及び対応方策など	・利用者アンケートの実施 ・苦情・クレームへの着実な対応	A	A	A
		利用者に対するサービス向上の方策(窓口対応、プロモーション、設備の整備など)	・移動児童館の実施(仕様書別記3参照) ・利用者へのサービス向上に繋がる方策の実施	A	A	A
		利用促進、利用者増の方策	・利用促進や利用者増に繋がる方策の実施	S	A	A
		サービスの質を確保するための体制、モニタリングなど	・事務分掌等に基づく事務分担の実施	A	A	A
		施設の効用(設置目的)を最大限発揮できるスタッフの配置	・児童厚生員を2人以上、その他の職員(施設が児童センターの場合は体育指導員)を1人以上配置(このうち最低1人は常勤職員とすること)	A	A	A
		区分評価			A	
効率性	事業計画書の内容が、管理経費の縮減が図られるものであること	指定管理経費の妥当性(収支計画の妥当性など)	・収支計画に沿った運営(予算書に沿った執行)	A	A	A
		管理経費縮減の具体的方策	・管理経費縮減に繋がる方策の実施(リサイクルやリユース、節水・節電など)	S	A	A
		区分評価			A	
安定性 安全性	事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	組織及びスタッフ(採用予定者も含む)の経歴、保有する資格、ノウハウ、専門知識等	・児童厚生員を2人以上、その他の職員(施設が児童センターの場合は体育指導員)を1人以上配置(このうち最低1人は常勤職員とすること)	A	A	A
		スタッフ(採用予定者も含む)の管理、監督体制	・事務分掌等に基づく管理・監督体制並びに事務分担の実施	A	A	A
		スタッフ(採用予定者も含む)の人材育成の方策	・職員の資質向上を図る研修の実施又は研修会への参加	A	A	A
		リスクへの対応方策(防止策、非常時の対応マニュアルなど)	・危機管理(リスク)や非常時対応のマニュアルの整備 ・リスク防止策の実践	A	A	A
		区分評価			A	

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
貢献性	事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域(以下「地元」という。)の振興、活性化などに貢献できるものであること	地元の法人その他の団体の育成(一部業務の再委託先)、地元住民の活用(雇用又はボランティア等)	・地元の諸団体との連携、交流 ・地元の法人その他の団体の育成又は地元住民・高齢者・障がい者等の活用	A	A	A
		地元での社会活動等への参加	・地元の振興、活性化などに貢献できる社会活動等への参加(地元行事への参加)又は地元の団体・住民との協働事業等の実施	S	S	S
		区分評価				

●指定管理者の取組みに対する自己評価(良否、課題と解決策など)

今期の取組みに対する評価	<p>○子育て支援事業の幼児クラブを安全に配慮するため年齢別に実施したり、自由参加のクラブの開催数を増やしたり、子育て講座を開催することで幼児保護者の利用が増加した。</p> <p>・23年度下半期 7,048名 → 24年度下半期 8,349名</p> <p>○児童健全事業の実施回数を増やし、利用が増えるようにした。</p> <p>・23年度下半期 36回 → 24年度下半期 55回</p> <p>○地域の親子ふれあい教室や子育てサークルが行われている公民館や小学校の親子ふれあい事業、親子ふれあい教室の合同事業に移動児童館として職員が出向き、公平な利用に努めた。</p> <p>○地域の事業(文化祭やウォークラリー)に協力し、児童センターのPRを図った。</p> <p>○中学校や高校にボランティアの募集を継続的に行い、地域の方にボランティアの活躍を認めてもらえる事業(あきまつり、収穫祭、もちつきなど)を実施した。</p>
前回までの意見を踏まえた取組み状況	<p>平成24年度上半期評価委員会からご指摘があった 岐阜市の子育て支援サイト「ぶりあネット」の活用については、岐阜市子ども家庭課に24年度下半期に登録の申請をした。今後「ぶりあネット」を活用し、一層の広報に努めていきたい。</p>
今後の取組み	<p>今後も事業を発展をさせるために、地域の方や母親クラブ、NPOと協力して子育て支援や児童健全育成を行っていく。</p> <p>また子どもボランティアだけでなく、大人のボランティアの受け入れも継続して行き、児童センターとしての事業に不足する部分がないように協力をしていただく。</p>

●所管課の意見

<p>児童センターのおたより発行・ホームページや移動児童館事業を行い、広報活動や遊びの提供に努めた。また、アンケートを実施し、ニーズの把握とサービス改善に努めた。</p> <p>子育て支援事業として、年齢別の幼児クラブや自由参加クラブを開催し子育て支援に努めた。</p> <p>子育て支援事業として、親子クラブの種類を新たに増やし、実施回数も増やしたことで幼児親子の利用が増えた。</p> <p>中学生から大人までのボランティアが事業運営に関わる機会をつくり、自主的な活動に結びつけるよう支援すると共に、人材育成と質の向上に努めた。</p> <p>地域組織活動支援として、母親クラブの指導、育成に努めた。</p> <p>経営状況については、問題なく運営が行われた。</p> <p>地元の関係機関との交流や地域の行事に積極的に参加、支援、連携し、地域に貢献した。</p>
--

●指定管理者評価委員会の意見

<p>事業計画書どおり適正に管理運営されており、良好と認められる。</p> <p>事業の実施においても利用者のニーズを取り入れた方策が取られていると見受けられる。</p> <p>各施設でノウハウを共有するなどして今後もより充実した活動をしていただきたい。</p>
